



平成 26 年 5 月号



概 況

最近の県内経済は、全体としては緩やかな持ち直しの動きが続いている。雇用情勢の改善傾向の継続や、個人消費関連の底堅さがみられる。

まず、個人消費関連では、大型小売店販売は 9 ヶ月ぶりにプラスに転じた。自動車販売は登録車、届出車がプラスとなり、合計では 7 ヶ月連続の 2 桁プラスとなった。

住宅建設は持家、貸家、分譲住宅のいずれもが減少し、全体では 13 ヶ月ぶりに前年同月を下回った。公共投資は市町村が増加、県は横這いとなったものの、国、独立行政法人等が減少し、再びマイナスに転じた。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比 6.7%低下の 108.0 と 5 ヶ月ぶりに前月を下回った。

25 年県産米価格は 2 銘柄とも前月比で低下した。25 年県産リンゴ販売は県外出荷量が減少したものの、市場価格の上昇から県外市場販売額は増加した。八戸港の水揚げは、数量は減少したものの、金額は微増した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比 0.02 ポイント上昇の 0.79 倍となり、6 ヶ月連続で 0.7 倍台と高水準を維持している。

個人消費 3 月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比 9.4%増と 9 ヶ月ぶりにプラス。業態別では百貨店が同 11.1%増、スーパーは同 8.9%増となった。3 月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比 14.1%増の 9,533 台と 7 ヶ月連続の 2 桁プラスとなった。登録車が同 16.5%増と 6 ヶ月連続のプラス、届出車が同 11.7%増と 10 ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資 3 月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比 29.8%減の 283 戸と 13 ヶ月ぶりのマイナス。持家が同 19.0%減、貸家が同 45.9%減、分譲住宅が同 21.4%減となった。

公共投資 3 月の**公共工事情形**は全体で前年同月比 61.3%減の 88 億 7,200 万円と再びマイナスに転じた。国が同 81.0%減、独立行政法人等が同 93.7%減となった。一方、市町村は 10.8%増、県は同 0.1%増となった。

一次産業 農林水産省の発表によると、**25 年県産米**の相対取引価格 (26 年 3 月)は「つがるロマン」が前月比 0.6%低下、前年同月比 15.6%低下、「まっしぐら」は前月比 2.5%低下、前年同月比 16.5%低下となった。3 月の**25 年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比 8.0%減となったが、消費地市場価格が同 24.5%上昇し、県外市場販売額は同 15.2%増となった。3 月の**八戸港水揚げ**は船凍スルメイカの水揚げ減少などから、数量が前年同月比 36.3%減となったものの、魚価の上昇から金額では同 0.8%増となった。

生産活動 2 月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比 6.7%低下の 108.0 と、5 ヶ月ぶりに前月を下回った。原指数では前年同月比 0.9%上昇の 97.5 となった。鉄鋼、パルプ・紙、電気機械などが低下した。

一 次 産 業

米

☆本県産米価格、2銘柄とも前月比低下

農林水産省が発表した「平成25年産米の相対取引価格(平成26年3月)」によると、県産米の相対取引価格は「つがるロマン」が前月比0.6%低下、前年同月比15.6%低下の1万3,216円/玄米60kg、「まっしぐら」は前月比2.5%低下、前年同月比16.5%低下の1万2,891円/玄米60kgとなった。

公表された96銘柄の平均価格は1万4,449円/玄米60kgとなり、前月比で0.4%低下(89銘柄との比較)、前年同月比では12.6%低下(83銘柄との比較)となった。前月比では比較可能な89銘柄中59銘柄が低下し、29銘柄が上昇、1銘柄は横這いだった。本県産は2銘柄とも低下し、「まっしぐら」の低下幅が大きかった。

平成25年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

		(単位:円/玄米60kg)									
産地	品種	25年9月	25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月	前月比	25年3月	前年同月比
青森	つがるロマン	-	14,066	13,739	13,623	12,942	13,293	13,216	-0.6%	15,663	-15.6%
	まっしぐら	-	13,343	12,584	13,124	12,262	13,215	12,891	-2.5%	15,446	-16.5%
岩手		14,360	14,384	14,314	14,547	14,290	14,457	14,274	-1.3%	16,033	-11.0%
宮城	ひとめぼれ	14,717	14,442	14,319	14,294	14,320	14,438	14,269	-1.2%	16,230	-12.1%
秋田	あきたこまち	14,481	14,616	14,621	14,625	14,513	14,280	14,396	0.8%	16,717	-13.9%
山形	つや姫	-	17,212	17,188	17,017	17,264	16,673	16,672	0.0%	-	-
北海道	ななつぼし	15,527	14,586	14,431	14,239	14,006	14,011	13,941	-0.5%	15,378	-9.3%
北海道	ゆめぴりか	18,043	17,256	17,359	17,179	17,450	17,381	17,121	-1.5%	-	-
全銘柄平均価格		14,871	14,752	14,637	14,582	14,534	14,501	14,449	-0.4%	16,534	-12.6%

相対取引価格… 全国出荷団体、年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)

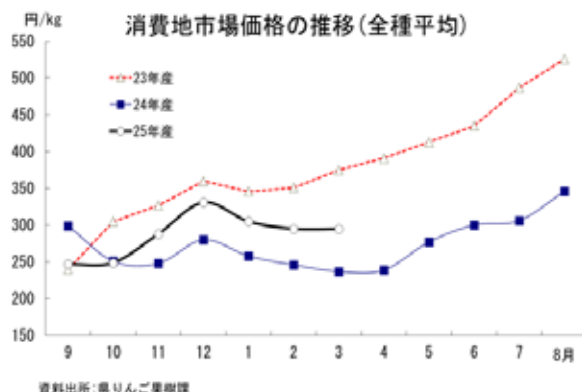
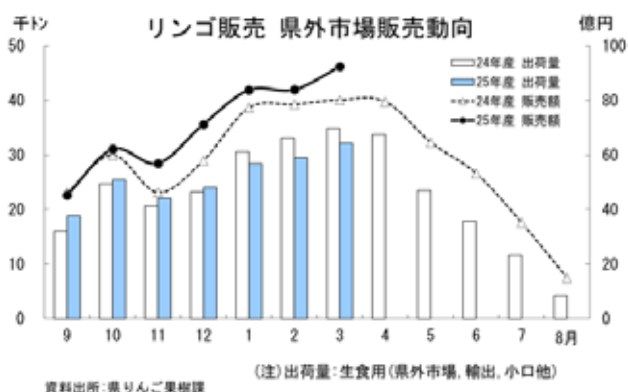
資料出所:農林水産省

りんご

☆消費地市場価格、前年同月比24.5%上昇

25年県産りんご販売、3月の県外出荷量は前年同月比8.0%減の3万2,106トンとなった。これは前3ヶ年の3月平均出荷量を0.4%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比57.5%上昇、前3ヶ年比較で14.3%上昇の200円/kgとなった。一方、消費地市場価格は「ふじ」が前年同月比22.3%上昇の296円/kg、「玉林」が同42.6%上昇の268円/kgとなり、合計では前年同月比24.5%上昇、前3ヶ年比較で5.4%上昇の295円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比15.2%増、前3ヶ年比較で11.1%増の92億4,800万円となった。

25年産県産りんごは、市場での品薄感を背景に引き合いが強く、品質も良好なことから高値で推移し、県外出荷量が前年を下回っているものの販売額は上回る状況が続いている。



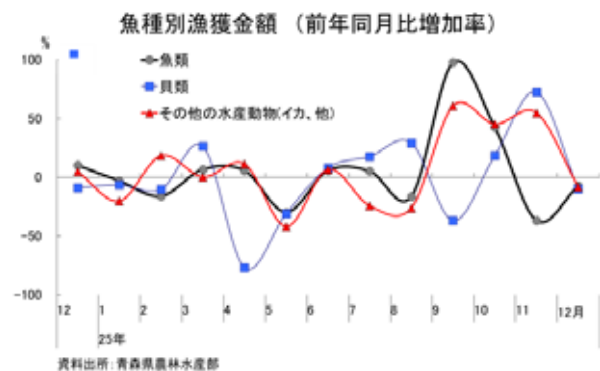
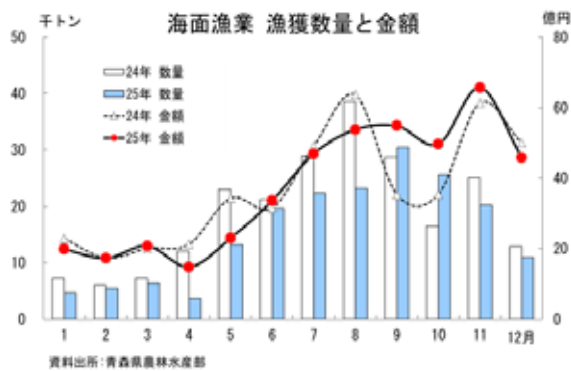
海面漁業

12月の漁獲数量、前年同月比14.7%減、金額は8.3%減

12月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比14.7%減の1万984トン、一方、漁獲金額は同8.3%減の45億9,066万円となった。前年同月と比べて、タラやスルメイカ（近海・船凍）の漁獲数量が増加したものの、スルメイカ（近海・生）が大幅に減少したことが影響した。

主な魚種別にそれぞれ構成比をみると、漁獲数量はスルメイカ（近海・生）が20.6%、スルメイカ（近海・船凍）が17.2%、タラが11.3%、マイワシが10.2%、ハタハタが7.2%などと続いた。

漁獲金額は、ナマコが24.9%で最も多く、次いでスルメイカ（近海・生）が16.4%、スルメイカ（近海・船凍）が13.7%、マグロが8.0%、タラが6.9%などと続いた。

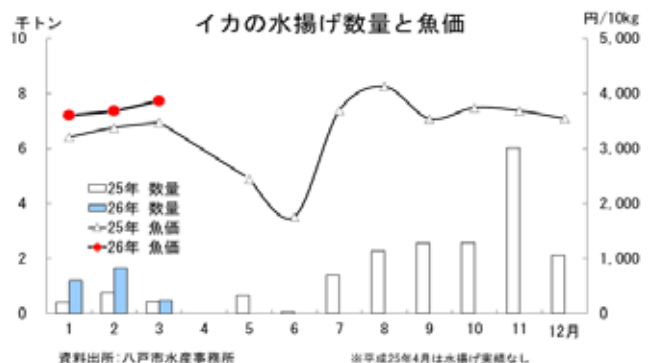
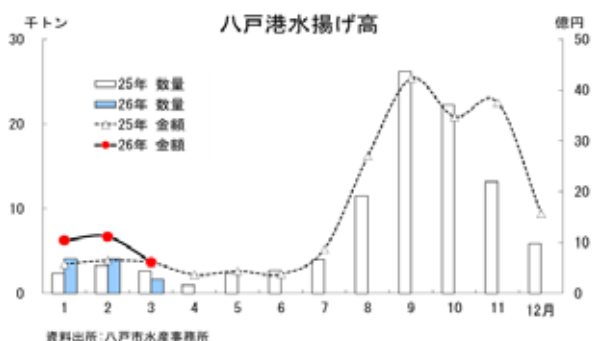


八戸港水揚げ

3月水揚げ数量36.3%減、金額は微増

3月の八戸港水揚げは、数量が3月では過去10年で最低となる前年同月比36.3%減の1,694トン、金額が同0.8%増の6億1,790万円と、数量は減少したものの、全体に魚価が上昇し、金額は微増となった。

イカ釣り漁は、船凍スルメイカの水揚げが落ち込んだものの、船凍アカイカが大幅に増加したことから、全体では数量が同8.9%増の478トン、金額が同21.3%増の1億8,489万円となった。平均単価は同11.4%上昇の3,868円/10kgとなった。機船底引き網漁は、スケトウダラの水揚げが大幅に落ち込み、数量が同40.4%減の1,024トンとなった。一方金額は単価の高いキンキンなどが増えたほか、スケトウダラの魚価上昇などから同4.9%増の3億7,145万円となった。なお、大中型旋網漁は前年同様、水揚げがゼロであった。

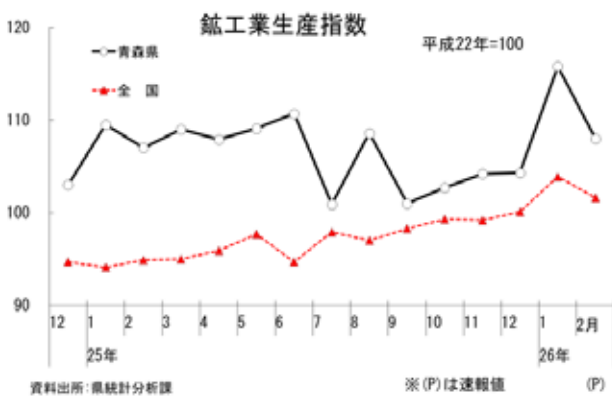


二 次 産 業

鉱工業生産

鉱工業生産指数 108.0、5ヶ月ぶりに前月を下回る

2月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比6.7%低下の108.0と、5ヶ月ぶりに前月を下回った。主要6業種をみると、食料品が同1.0%、鉄鋼が同21.4%、業務用機械が同4.6%、パルプ・紙が同16.5%、電気機械工業が同14.4%それぞれ低下した。一方、電子部品・デバイスが同2.7%上昇した。このほかでは、石油・石炭製品が同190.6%、はん用機械が同98.6%それぞれ大幅に上昇したが、生産用機械は同34.6%、金属製品は同18.4%それぞれ低下した。原指数では化学工業、電子部品・デバイス、食料品などが上昇に寄与し、前年同月比0.9%上昇の97.5となった。



業種別生産指数(平成26年2月)

業 種 ()内は一万分比ウェート	季節調整済指数		原 指 数	
	平成22年=100	前月比 (%)	平成22年=100	前年同月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	108.0	6.7	97.5	0.9
食 料 品 (2,410.0)	113.8	1.0	100.0	6.5
鉄 鋼 (1,200.9)	87.1	21.4	82.0	21.8
電子部品・デバイス (1,048.2)	143.4	2.7	125.2	14.2
業務用機械 (1,005.1)	111.3	4.6	106.5	7.5
パルプ・紙 (722.3)	79.1	16.5	75.8	10.1
電気機械 (429.2)	88.6	14.4	83.8	18.5

資料出所: 県統計分析課

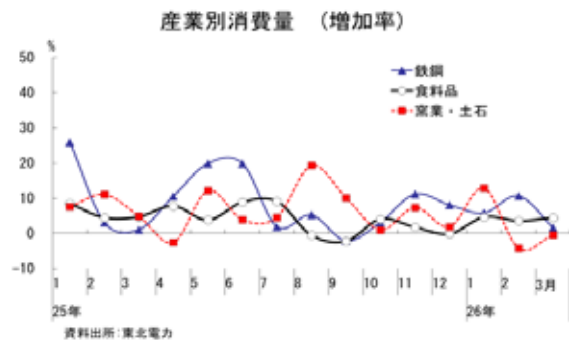
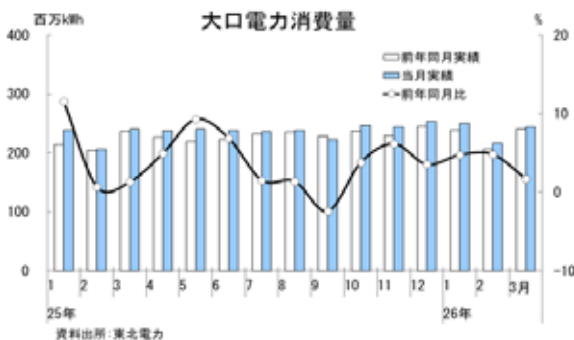
大口電力

6ヶ月連続のプラス、前年同月比1.7%増

3月の県内大口電力消費量は、前年同月比1.7%増の2億4,439万kWhとなった。うち製造業は同2.1%増の1億7,852万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、機械が同6.2%増、食料品が同4.5%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同1.7%増となった。一方、パルプ・紙は同39.7%減、非鉄金属は同15.8%減、化学は同3.5%減、鉱業は同1.9%減、窯業・土石は同0.4%減となった。

当月の県内大口電力消費量は鉄鋼、機械、食料品などが前年比プラスで推移しており、全体では6ヶ月連続のプラスとなった。



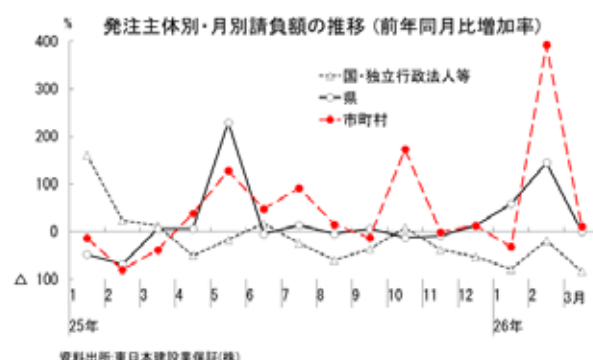
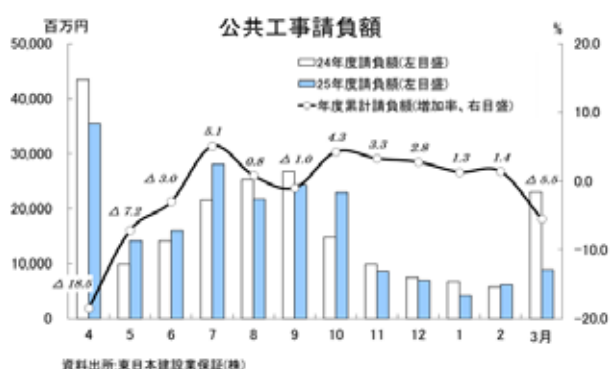
公共工事

☆25年度の公共工事請負額、前年度比5.5%減

3月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比61.3%減の88億7,200万円と再びマイナスに転じた。

当月の請負額は、国は国土交通省の大幅な減少により同81.0%減の24億9,500万円、独立行政法人等は新幹線関連工事などの減少により同93.7%減の2億200万円となった。一方、市町村はつがる市、東北町、三沢市、鱒ヶ沢町などの増加により同10.8%増の10億6,000万円となった。また、県は農林水産部で減少したものの県土整備部で増加し、同0.1%増の49億1,800万円とほぼ横這いとなった。

平成25年度累計の公共工事請負額は前年度比5.5%減の1,972億3,800万円となった。県や市町村が増加したものの、防衛省を除く国と、独立行政法人等の大幅な減少が響き、全体では前年実績を下回った。

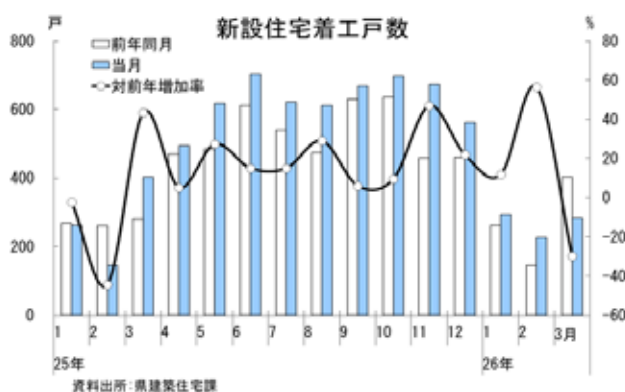


住宅着工

☆13ヶ月ぶりにマイナス、前年同月比29.8%減

3月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比29.8%減の283戸と13ヶ月ぶりに前年同月を下回った。利用関係別では、持家が同19.0%減、貸家が同45.9%減、分譲住宅が同21.4%減となった。地域別にみると、青森市、弘前市、五所川原市、むつ市、つがる市、郡部で減少した。一方、八戸市、黒石市、十和田市、三沢市、平川市では増加した。持家は、青森市、八戸市などで減少、貸家は八戸市、三沢市などで増加したものの、青森市、郡部で大幅に減少した。分譲は、八戸市、郡部などで減少した。

当月の新設住宅着工は、駆け込み需要の反動の影響がみられた。持家が19ヶ月ぶりにマイナスに転じたほか、貸家、分譲住宅などもマイナスとなり、全体でも前年同月実績を下回った。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	26年 3月	25年 3月	前年 同月比
持家	175	216	19.0
貸家	86	159	45.9
給与住宅	0	0	-
分譲住宅	22	28	21.4
総戸数	283	403	29.8

資料出所: 県建築住宅課

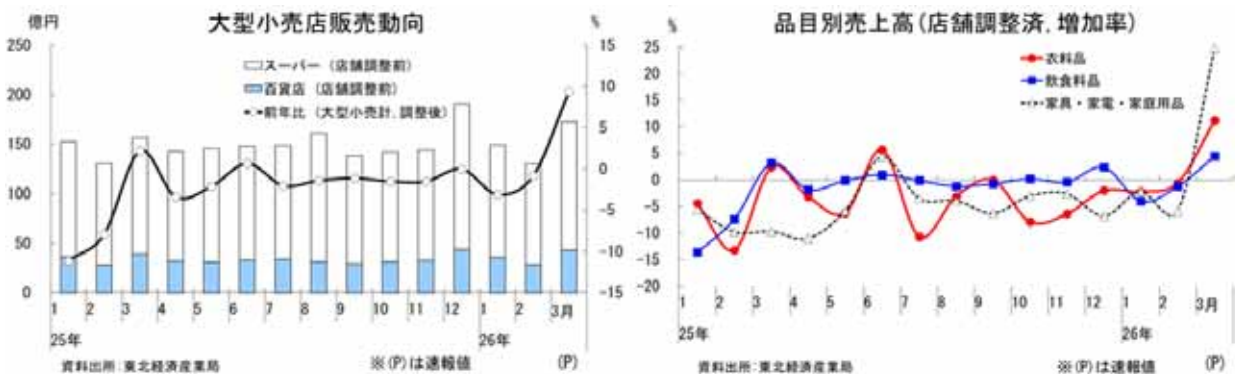
三 次 産 業

大型小売店販売

前年同月比 9.4%増、9ヶ月ぶりにプラス

3月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 9.4%増と9ヶ月ぶりにプラスに転じた。業態別では百貨店が同 11.1%増、スーパーは同 8.9%増となった。

品目別では、衣料品が同 11.2%増、ウェイトの高い飲食料品が同 4.5%増、家具・家電・家庭用品が同 24.8%増となった。衣料品は、スーツやフォーマルウェアなどが好調だった。飲食料品はホワイトデー関連で動きがみられ、惣菜や菓子、酒類が好調だったほか、日持ちする調味料、冷凍食品も好調だった。家具・家電・家庭用品は、白物家電やパソコンの買い替えなどから家電が好調だったほか、家具、家庭用品も好調だった。当月は、4月からの消費税引き上げ前の駆け込み需要により販売額の増加がみられたが、特に百貨店では、引き上げ直前の下旬に集中した。

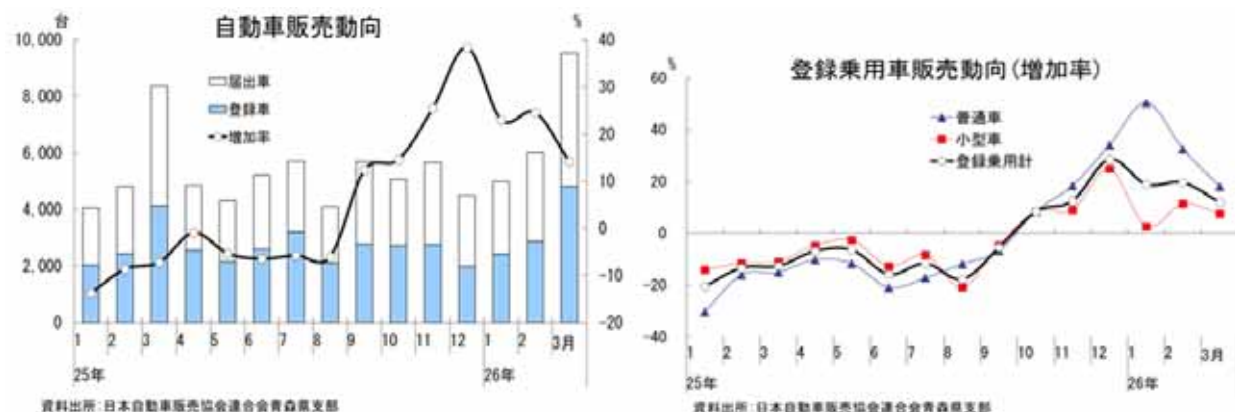


自動車販売

駆け込み需要で伸び、前年同月比 11.9%増

3月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 14.1%増の 9,533 台と7ヶ月連続の2桁プラスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 18.1%増、小型乗用車が同 7.6%増、貨物車が同 33.8%増となり、登録車合計では同 16.5%増と6ヶ月連続のプラスとなった。届出車は乗用車が同 11.8%増、貨物車が同 11.1%増となり、届出車合計では同 11.7%増と10ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 12.0%増となり、全体では同 11.9%増と7ヶ月連続の2桁プラスとなった。

県内の自動車販売は、消費税率引上げ直前の駆け込み需要から、引き続き乗用車を中心に伸びがみられたが、増勢は弱まっている。



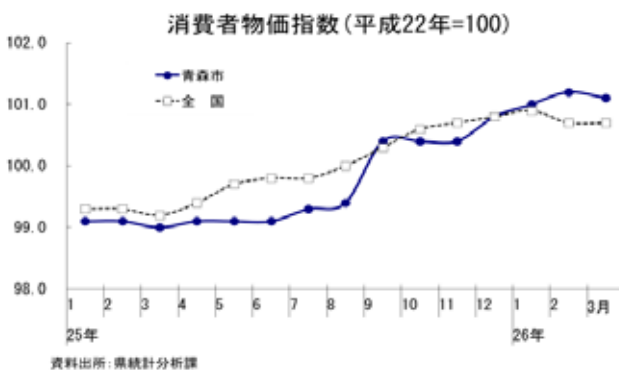
消費者物価指数

前月比 0.1%下落、前年同月比 2.1%上昇の 101.1

3月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.1%下落、前年同月比2.1%上昇の101.1となった。主要費目別に前月と比べると、「保健医療」が医薬品、保健医療用品などの値下がりにより0.4%、「光熱・水道」が灯油の値下がりにより0.3%、「教養娯楽」が教養娯楽耐久品などの値下がりにより0.3%下落した。一方、「被服及び履物」は0.7%、「家具・家事用品」は0.3%上昇した。前年同月との比較では電気代の値上がりから「光熱・水道」が6.3%、「被服及び履物」が3.7%、「食料」が3.1%、「教養娯楽」が2.0%それぞれ上昇した。

なお、「生鮮食品を除く総合指数は」前月比0.1%低下、前年同月比1.6%上昇の100.8となった。

費目別指数の動き(平成26年3月)



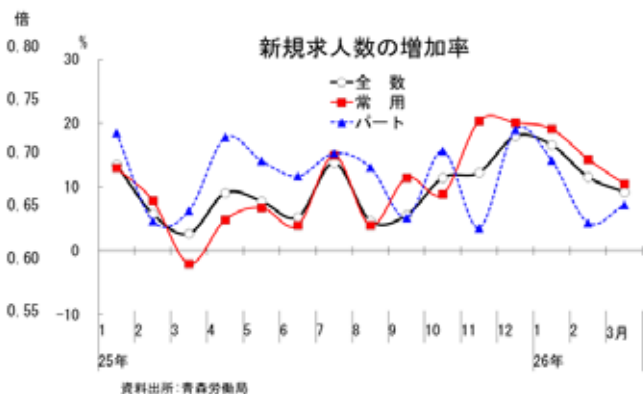
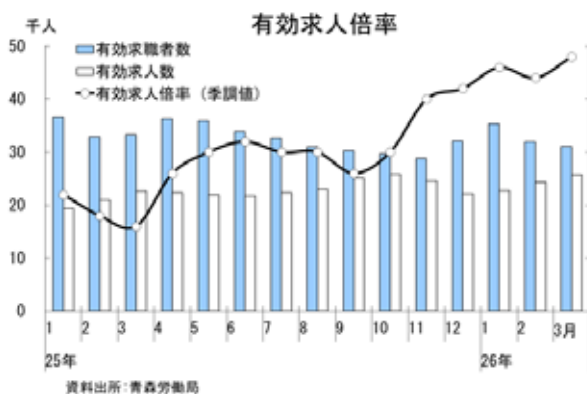
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	101.1	0.1	2.1
食料	100.0	0.2	3.1
住居	98.2	0.2	0.1
光熱・水道	118.2	0.3	6.3
家具・家事用品	90.1	0.3	0.4
被服及び履物	103.0	0.7	3.7
保健医療	97.0	0.4	1.1
交通・通信	104.0	0.1	1.1
教育	96.8	0.0	0.1
教養娯楽	92.2	0.3	2.0
諸雑費	106.3	0.1	1.8

雇用動向

有効求人倍率 6ヶ月連続で 0.7 倍台

3月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比13.6%増の2万5,756人、有効求職者数は同6.5%減の3万1,077人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント上昇の0.79倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比10.5%増、臨時・季節求人数が同11.4%増、パート求人数が同7.2%増となり、全数では同9.2%増の10,472人となった。主要産業別の新規求人動向では食料品、電気機械、輸送用機械、情報通信機械などの製造業や、専門・技術サービス業、金融・保険業、飲食サービス業などで増加がみられた。

県内の雇用状況は有効求人倍率が6ヶ月連続で0.7倍台と高水準を維持し、規求人数は36ヶ月連続のプラスとなっている。



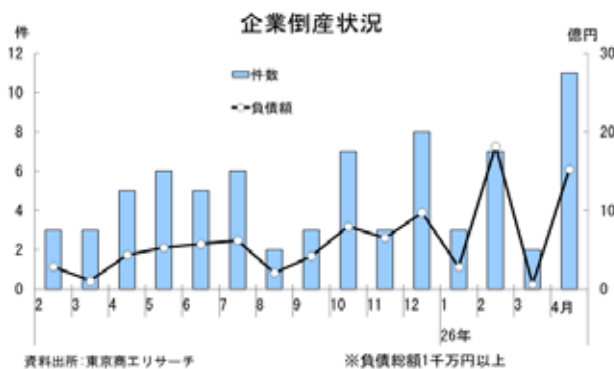
企業倒産

倒産件数は 37 ヶ月ぶりの 2 桁発生

4月の県内企業倒産は、件数が前年同月比6件増の11件、負債総額は同10億8,900万円増の15億2,400万円となった。前月比では件数が9件増、負債総額14億6,400万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別ではサービス業が4件、卸売業が2件、漁業、製造業、不動産業、運輸業、情報通信業が各1件となった。地域別では青森市で6件、むつ市で2件、八戸市、五所川原市、北津軽郡で各1件の発生となった。倒産要因は販売不振が5件、既往のシワ寄せが4件、放漫経営、過小資本が各1件となった。

当月の県内企業倒産は、件数が平成23年3月以来、37ヶ月ぶりの2桁発生となった。



業種別・原因別件数 (平成26年4月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	1
建設業		過小資本	1
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業	2	既往のシワ寄せ	4
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	5
不動産業	1	売掛金回収難	
運輸業	1	在庫状況悪化	
情報通信業	1	設備投資過大	
サービス業 他	4	その他	11
合計	11	合計	11

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

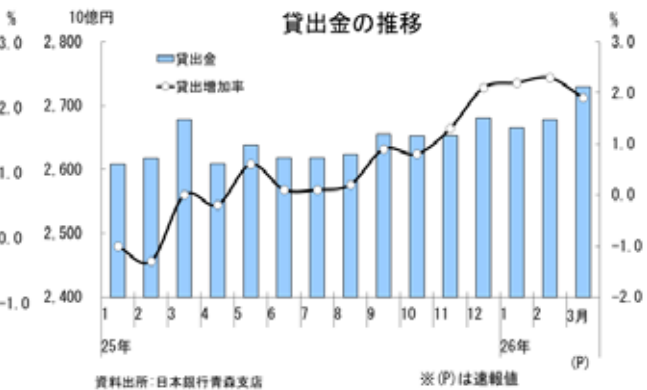
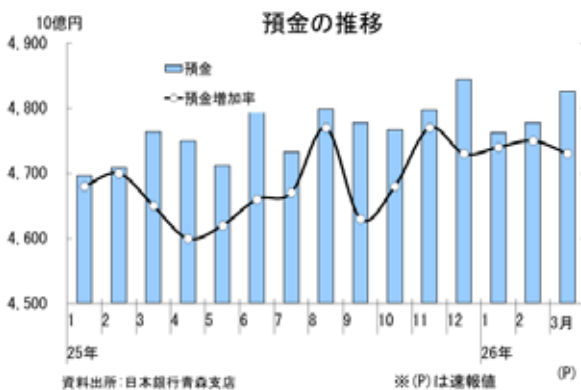
金融動向

預金、貸出金とも 11 ヶ月連続のプラス

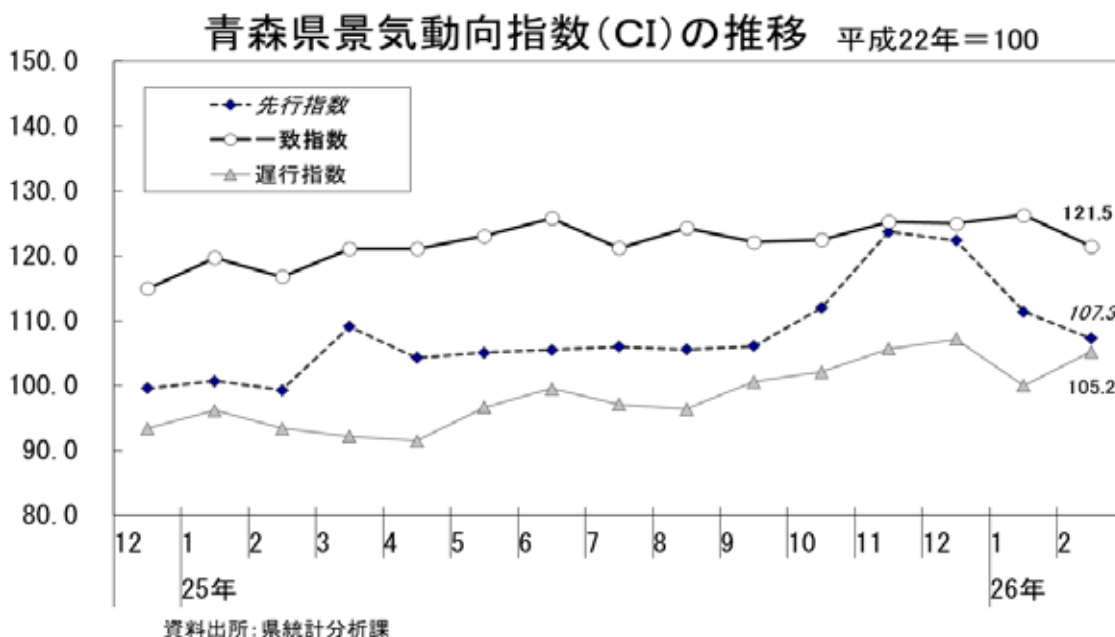
3月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.3%増の4兆8,252億円、貸出金は同1.9%増の2兆7,298億円となり、ともに前年同月比のプラス幅は縮小したものの11ヶ月連続のプラスとなった。

預金は個人預金が前年を上回って推移する中、月末休日要因により法人のプラス幅が縮小したことから、預金全体のプラス幅は前月比0.2ポイント縮小した。

一方、貸出金は個人向け、地公体向けが前年を上回って推移する中、月末休日要因により法人のマイナス幅が拡大したことから、貸出金全体のプラス幅は前月比0.4ポイント縮小した。



青森県景気動向指数



一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表示
下段: 寄与度

採用系列名	25年 9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月
1. 大型小売店販売額(既存店)	0.07	0.21	0.04	0.57	1.34	0.89
2. 旅行取扱高	1.28	1.60	0.17	0.84	0.89	0.38
3. 鉱工業生産指数	2.45	0.58	0.49	0.00	2.58	2.42
4. 大口電力使用量	0.71	0.95	0.26	0.09	0.45	1.92
5. 有効求人倍率(全数)	1.07	0.99	1.67	0.22	0.91	1.29
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.25	0.08	0.04	1.31	0.28	0.29
7. 東北自動車道IC利用台数	0.07	0.22	0.26	0.53	0.08	0.56

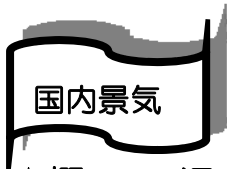
資料出所: 県統計分析課

景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。



国内景気

☆概況

4月の内閣府の月例経済報告によると、国内景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、弱い動きもみられる。駆け込み需要の反動の影響から、個人消費は、弱い動き、生産は概ね横這い。住宅建設は増勢が鈍化している。輸入は増加している。設備投資は持ち直している。雇用状況は着実に改善している。物価は緩やかに上昇している。

☆大型小売店販売（既存店ベース）

—前年同月比 16.1%増—

3月の大型小売店販売は前年同月比 16.1%増となった。業態別にみると、百貨店が同 25.2%増、スーパーが同 11.1%増となった。商品別にみると、衣料品が同 19.5%増、飲食物品が同 6.4%増、その他商品が同 33.9%増となった。

☆住宅建設

—19ヶ月ぶりにマイナスに転化—

3月の新設住宅着工戸数は前年同月比 2.9%減の 6万 9,411戸と、19ヶ月ぶりにマイナスに転じた。利用関係別にみると、貸家が同 11.3%増と 13ヶ月連続のプラスとなったものの、持家は同 13.0%減、分譲住宅も同 8.5%減とそれぞれ 2ヶ月連続のマイナスとなった。

☆企業倒産

—倒産件数、17ヶ月連続のマイナスイ—

3月の企業倒産は、件数が前年同月比 12.4%減の 814件、負債総額は同 26.5%減の 1,170億円となった。倒産件数は 17ヶ月連続のマイナスとなった。負債総額は 10億円以上の大型倒産がほぼ半減したことなどから 2ヶ月連続で前年同月を下回った。

☆為替動向

—4月末終値 102円 50銭—

4月の東京為替市場は前月末から続落、103円台前半でスタート。上旬は日経平均株価の下落などから 101円台まで円高が進んだ。中旬以降は米国経済指標が良好だったことや、平成 25年度の貿易収支が市場予想を上回る過去最大の赤字だったことなどから円が売られ 102円台半ばまでの円安となる。月末にかけては飛び石連休もあり積極的な売買が手控えられ、月末終値は 102円 50銭。

☆鉱工業生産指数

—2ヶ月ぶりに上昇—

3月の鉱工業生産指数は前月比 0.3%上昇の 101.8(季節調整値)と 2ヶ月ぶりに上昇した。輸送機械、電子部品・デバイス、窯業・土石等が上昇に寄与。品目別では普通乗用車、一般用タービン発電機、太陽電池セル等であった。なお生産予測調査では、4月は電子部品・デバイス、金属製品、輸送機械等の低下から当月比 1.4%低下を予測。

☆新車販売（除く軽自動車）

—8ヶ月ぶりにマイナス、前年同月比 11.4%減—

4月の国内新車販売は前年同月比 11.4%減の 18万 8,864台と 8ヶ月ぶりにマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同 11.8%減、貨物車が同 7.8%減となった。乗用車は普通乗用車が同 16.9%減、小型乗用車が同 7.0%減とそれぞれ 8ヶ月ぶりのマイナスとなった。

☆完全失業率

—前月比横ばいの 3.6%—

3月の完全失業率は前月比横ばいの 3.6%となった。完全失業者数は前年同月比 34万人減の 246万人となり、46ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が同 14万人減の 49万人、自己都合が同 9万人減の 90万人などとなった。

☆消費者物価指数

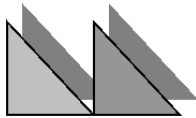
—前月比 0.3%上昇の 101.0—

3月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.3%上昇、前年同月比 1.6%上昇の 101.0となった。前月に比べ被服及び履物、教養娯楽などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月比 0.3%上昇、前年同月比 1.3%上昇の 100.8となった。

☆国際収支

—経常収支、黒字幅大幅縮小—

3月の経常収支額は、黒字幅が大幅に縮小、前年同月比 90.9%減の 1,164億円となった。第一次所得収支の黒字幅が拡大、サービス収支の赤字幅が縮小したが、貿易収支や第二次所得収支の赤字幅が拡大した。内訳は、第一次所得収支が 1兆 7,549億円の黒字。一方、貿易収支は 1兆 1,336億円、サービス収支は 843億円、第二次所得収支は 4,207億円それぞれ赤字。



今月の統計

平成 25 年の県内企業倒産発生状況

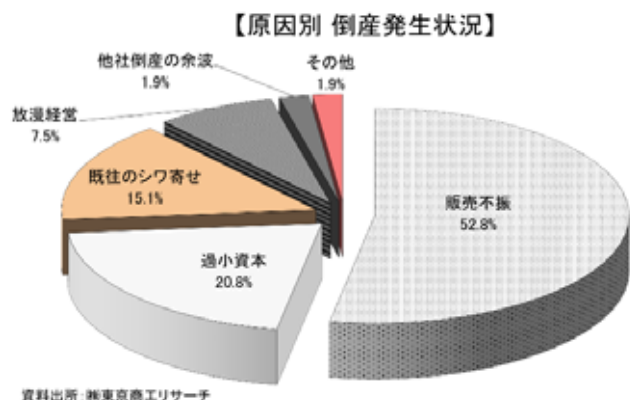
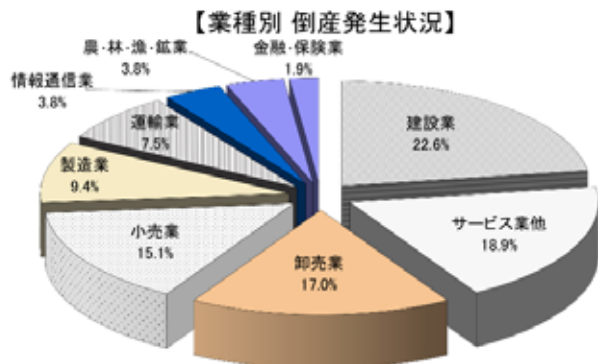
平成 25 年の県内企業倒産(負債額 1 千万円以上、東京商工リサーチ調べ)は、件数が前年比 7.0%減(4 件減)の 53 件、一方、負債総額は同 78.8%減(415 億 8,200 万円減)の 111 億 8,100 万円と大幅に減少した。倒産件数は、過去 10 年間で最小件数を更新し、昭和 47 年以降の集計史上では過去 2 番目の低水準となった。負債総額は、10 億円超の大型倒産が 1 件にとどまり、過去 10 年間で最小となった。

地域別の発生状況を見ると、八戸市が 14 件(前年 12 件)で最も多く、次いで青森市が 13 件(同 16 件)、弘前市が 5 件(同 7 件)、十和田市が 5 件(同 3 件)などと続いた。

金融機関、政府による各種経済支援策、また一部に消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられ、倒産件数は小康状態が続いており、5 年連続で減少した。

県内の倒産状況(件数)の内訳をみると、業種別では建設業が 22.6%(12 件)と最も多く、次いでサービス業他が 18.9%(10 件)、卸売業が 17.0%(9 件)、小売業が 15.1%(8 件)、製造業が 9.4%(5 件)などの順となった。建設業は 14 年連続のトップとなったが、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などから業況好転がみられ、構成比は減少(前年 29.8%)している。

次に原因別の内訳をみると、「販売不振」が 52.8%(28 件)と最も多く、次いで「過小資本」が 20.8%(11 件)、「既往のシワ寄せ」が 15.1%(8 件)などの順となった。「販売不振」は 16 年連続のトップとなった。また、不況型倒産(販売不振、既往のシワ寄せ、売掛金回収難)は全体の 67.9%(36 件)を占めた。



県内

- 1日 消費税 8%にアップ**
消費税率が平成9年以降17年ぶりに5%から8%へ引き上げられた。平成26年度の増税分は約5兆円の見込みで、基礎年金の国庫負担や社会保障費の補填などにあてられる。
- 平成26年度の県内臨床研修医 69人**
県がまとめた2014年度の県内臨床研修医採用状況によると、医学部を卒業し4月から県内の13病院で初期臨床研修を受ける研修医は69人となった。前年度比3名減となったものの、過去3番目の高い水準となった。
- 13日 弘前市長選 現職の葛西氏が再選**
任期満了に伴う弘前市長選で、即日開票の結果、現職の葛西憲之氏が再選を果たした。投票率は38.35%で前回は19.71ポイント下回った。
- 23日 県の特別保証融資、前年度比 総融資額 1.8%減**
県は特別保証融資制度の平成25年度融資実績を公表した。総融資額は前年度比1.8%減の128億6,538万円となった。一方、総融資件数は市町村連携により中小企業の小口利用が増加し前年度比111.3%増の993件となった。
- 24日 本県の平成24年度経済成長率、実質で3年連続のプラス成長**
県が発表した平成24年度県民経済計算(速報値)によると、県内総生産は名目で4兆4,819億円、実質で4兆7,363億円となった。経済成長率は名目で1.8%、実質で2.9%となり、実質で3年連続のプラス成長となった。
- 30日 青森ワッツ ベストブースター賞選出**
プロバスケットボールbjリーグは、今期(2013-2014シーズン)の各賞を発表した。青森ワッツは、ファン一丸となってチームを応援したことが評価され、ベストブースター賞に選出された。

国内

- 8日 街角景気 現況判断指数3ヶ月ぶりに上昇**
内閣府が発表した3月の景気ウオッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比4.9ポイント上昇の57.9となり、3ヶ月ぶりに上昇した。一方、景気の先行判断指数は同比5.3ポイント低下の34.7となり、4ヶ月連続で低下した。
- 17日 4月の月例報告、景気判断を据え置き**
政府は4月の月例経済報告で景気の基調判断を1年5ヶ月ぶりに下方修正し、「緩やかな回復基調が続いているが、駆け込み需要の反動によりこのところ弱い動きもみられる」とした。また、景気の先行きは「当面、弱さが残るものの、反動の影響が薄れ、緩やかに回復していくことが期待される」とした。
- 17日 日銀、北陸1地域の景気判断引き上げ 8地域は横ばい**
日本銀行は4月の地域経済報告(さくらりポート)を発表した。全国9地域中、北陸1地域の景気判断を前回1月から引き上げ、8地域は据え置いた。
- 21日 平成25年度の貿易赤字 13兆7,488億円**
財務省が発表した平成25年度の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は13兆7,488億円の赤字となった。年度ベースで3年連続の赤字で、赤字額は平成24年度の8兆1,578億円を大幅に上回った。
- 23日 3月の訪日外客数、前年同月比 22.6%増**
日本政府観光局の発表によると、3月の訪日外客数(推計値)は、中国や台湾などから桜の花見客が増えたほか、マレーシアなど東南アジア向けビザ緩和などにより、前年同月比22.6%増の105万1千人で、14ヶ月連続で増加した。
- 30日 平成25年度の住宅着工戸数、前年度比 10.6%増**
国土交通省の発表によると、平成25年度の住宅着工戸数は前年度比10.6%増の98万7,254戸となり、4年連続で増加し、昭和62年度(23.5%増)以来の高い伸び率を記録した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012(H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013(H25)	835,998			1.256	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2013(H25) 1	838,266	611,606	432,055	1.358	934	2,246	94.1	69,289	7,119	16,873
2	823,430	614,768	434,083	1.346	916	1,720	94.9	68,969	10,543	14,239
3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.0	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.9	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	94.7	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.9	84,801	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.0	84,343	14,102	15,823
9	833,865	630,050	444,827	1.277	820	1,902	98.3	88,539	18,916	15,059
10	835,418	630,216	441,348	1.277	959	1,553	99.3	90,226	14,130	15,911
11	839,935	634,827	444,172	1.271	862	1,379	99.2	91,475	11,049	16,963
12	870,015	640,633	449,134	1.258	750	1,344	100.1	89,578	12,377	21,399
2014(H26) 1	871,198	637,558	446,922	1.254	864	3,151	103.9	77,843	7,918	17,117
2	854,749	638,211	446,974	1.250	782	1,162	101.5	69,689	10,912	14,690
3	861,177				814	1,170	102.2	69,411	22,944	P19,562
前月比 %	0.8	0.1	0.0	-0.004% 引	4.1	0.7	0.7	-0.4	110.3	16.3
前年同月比%	4.0	3.8	3.0	-0.096% 引	-12.4	-26.5	7.4	-2.9	23.5	16.1
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012(H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,036	1,268,125	79.79	169.679
2013(H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31		1,266,815	97.71	188.334
2013(H25) 1	332	100.5	99.3	103.5	4.2	11,138.66	-3,484	1,267,299	89.19	173.500
2	413	101.0	99.2	104.4	4.3	11,559.36	6,497	1,258,809	93.21	174.999
3	571	101.1	99.4	105.5	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	106.0	4.1	13,860.86	7,844	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.6	99.8	107.0	4.1	13,774.54	5,666	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	107.1	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	402	102.2	100.0	108.3	3.8	13,668.32	6,004	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	108.5	4.1	13,388.86	1,571	1,254,204	97.87	180.025
9	446	102.6	100.6	109.4	4.0	14,455.80	5,948	1,273,446	99.24	180.555
10	354	102.5	100.7	110.6	4.0	14,327.94	-1,543	1,276,751	97.85	181.605
11	379	102.5	100.8	111.1	4.0	15,661.87	-5,969	1,275,352	100.03	184.132
12	359	102.8	100.9	111.8	3.7	16,291.31	-6,799	1,266,815	103.46	188.334
2014(H26) 1	434	102.9	100.7	114.8	3.7	14,914.53	P-15,890	1,277,058	103.94	187.995
2	491	102.8	100.7	112.9	3.6	14,841.07	P 6,127	1,288,206	102.13	189.005
3	666	102.8	101.0	p114.0	3.6	14,827.83	P 1,164	1,279,346	102.27	187.695
前月比%	35.8	0.0	0.3	1.1% 引	0.0% 引	-0.1	-	-0.7	0.1	-0.7
前年同月比%	16.7	1.7	1.6	8.5% 引	-0.5% 引	19.6	-90.9	2.0	7.9	6.7
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012(H24)	1,361,053	-5,311	-1,264	47,633	26,780	57	52,781	491,157	391
2013(H25)	1,347,650	-5,925				58	11,199		
2013(H25) 1	1,347,650	-121	325	46,961	26,088	2	5,605	47,690	17
2	1,346,535	-274	-134	47,085	26,168	3	286	39,290	48
3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664	65	-95	47,776	26,550	3	420	48,855	31
10	1,336,206	-24	-225	47,669	26,528	7	798	40,103	10
11	1,335,656	-140	-173	47,972	26,531	3	650	29,338	3
12	1,334,803	-318	-621	48,440	26,804	8	975	38,752	21
2014(H26) 1	1,333,729	-132	349	47,623	26,655	3	281	43,029	32
2	1,332,587	-264	-182	47,777	26,780	7	1,820	36,025	19
3	1,331,624	-5,127	-198	P 48,252	P 27,298	2	60	41,630	10
4	1,325,767		-209			11	1,089		
前月比 %	-0.4	-	-	1.0	1.9	450.0	1,715.0	15.6	-49.6
前年同月比%	-1.0	-	-	1.3	1.9	120.0	150.3	22.6	-48.5
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2008(H20)	106.6	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012(H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2013(H25)	106.1	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716		
2013(H25) 1	109.5	263	121	128	25	6,717	1,151	0.99	0.65
2	107.0	145	96	40	16	5,794	342	0.96	0.64
3	109.0	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.64
4	107.9	494	358	115	57	35,443	6,773	1.01	0.67
5	109.1	618	436	151	72	14,136	5,266	1.01	0.68
6	110.7	704	434	225	78	15,904	4,339	1.00	0.69
7	100.9	622	397	180	68	28,111	7,573	1.00	0.70
8	108.6	612	440	160	68	21,675	7,285	0.99	0.71
9	101.0	668	465	178	76	24,365	12,720	0.99	0.70
10	102.7	697	474	209	78	22,887	4,680	1.06	0.72
11	104.2	673	443	198	72	8,600	2,447	1.04	0.75
12	104.3	562	313	215	54	6,920	2,043	1.09	0.76
2014(H26) 1	115.8	294	169	110	30	4,161	1,830	1.17	0.78
2	P 108.0	227	102	113	21	6,158	837	1.14	0.77
3		283	175	86	30	8,872	4,918	1.15	0.79
前月比 %	-6.7	24.7	71.6	-23.9	43.0	44.1	487.6	0.01% 以下	0.02% 以下
前年同月比%	0.9	-29.8	-19.0	-45.9	-27.0	-61.3	0.1	0.20% 以下	0.15% 以下
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,927	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013(H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	-	-	-
2013(H25) 1	15,224	2,023	3,273	99.1	270,339	13,852	2,193	48.8	-9.7
2013(H25) 2	13,084	2,434	3,988	99.1	260,705	9,557	1,217	-	
2013(H25) 3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	
2013(H25) 4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	-15.9
2013(H25) 5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
2013(H25) 6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	
2013(H25) 7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	0.7
2013(H25) 8	16,077	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
2013(H25) 9	13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
2013(H25) 10	14,186	2,718	3,957	100.4	239,619	7,239	829	51.5	17.5
2013(H25) 11	14,427	2,748	4,448	100.4	231,726	6,630	683	-	
2013(H25) 12	19,083	1,986	3,576	100.8	272,465	7,265	748	-	
2014(H26) 1	14,897	2,421	4,097	101.0	220,923	11,970	1,832	54.8	6.4
2014(H26) 2	13,091	2,872	4,971	101.2	245,666	9,677	1,296	-	
2014(H26) 3	P 17,284	4,814	7,625	101.1	338,731	7,491	884	-	
前月(期)比%	-	67.6	53.4	-0.1	37.9	-22.6	-31.8	3.3ポイント	-11.1ポイント
前年同月(期)比%	9.4	16.5	11.9	2.1	7.7	-8.1	-9.3	-	-
資料出所		自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013(H25)				97,591	19,672	7,651	35,885	122,070	142,040
2013(H25) 1	30,572	258	140	2,355	580	528	5,264	13,994	12,039
2013(H25) 2	33,124	246	134	3,328	657	533	2,804	11,083	14,127
2013(H25) 3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,979
2013(H25) 4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,785
2013(H25) 5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,157
2013(H25) 6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,616
2013(H25) 7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,080
2013(H25) 8	4,336	346	-	11,521	2,704	773	3,245	8,113	10,778
2013(H25) 9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,298
2013(H25) 10	25,439	249	175	22,248	3,477	457	1,909	9,168	12,351
2013(H25) 11	22,057	288	209	13,181	3,761	603	1,891	10,374	9,003
2013(H25) 12	24,081	331	184	5,875	1,574	830	5,811	8,328	11,731
2014(H26) 1	28,422	305	196	4,176	1,043	698	4,222	11,047	12,072
2014(H26) 2	29,540	295	194	4,157	1,120	567	4,467	7,203	11,997
2014(H26) 3	32,106	295	200	1,694	618	608	3,468	8,989	10,033
前月比 %	8.7	0.0	3.1	-59.2	-44.8	7.2	-22.4	24.8	-16.4
前年同月比%	-8.0	24.5	57.5	-36.3	0.8	15.7	-23.6	32.2	-8.6
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2013(H25)	10.5	1,664.0	1,515.5	14,968
2013(H25) 2	-1.7	147.5	55.4	1,227
3	2.0	73.0	99.6	1,079
4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
9	20.4	238.5	172.1	1,240
10	14.6	204.5	101.1	1,164
11	6.7	136.0	87.2	1,139
12	2.0	121.0	71.1	1,219
2014(H26) 1	-1.6	168.0	40.5	1,280
2	-1.3	88.5	76.9	989
3	2.5	145.5	139.2	1,149
前月比 %	3.8	57.0ml	62.3h	16.2
前年同月比 %	0.5	72.5ml	39.6h	6.5
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-35.0	-25.7	-17.0
資料出所	青森銀行BSI('14.4~6月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2013(H25) 2	294,901	180,908	235,427	587	292	509	10	13	73
3	294,667	180,767	235,346	1,105	487	717	108	33	72
4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124	710	282	553	260	75	110
11	293,100	179,796	234,117	613	312	582	170	72	187
12	292,949	179,685	234,038	516	285	385	109	103	165
2014(H26) 1	292,769	179,582	233,951	537	268	534	75	22	105
2	292,437	179,415	233,919	693	340	572	29	16	71
3	292,241	179,248	233,857	1,207	613	915	55	28	90
4	290,568	178,399	233,011						
前月比 %	-0.6	-0.5	-0.4	74.2	80.3	60.0	89.7	75.0	26.8
前年同月比 %	-0.8	-0.6	-0.5	9.2	25.9	27.6	-49.1	-15.2	25.0
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産						
	青森	弘前	八戸	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2013(H25) 2	0.51	0.40	0.65	1	10	1	76	0	0	0
3	0.55	0.47	0.72	1	58	1	20	0	0	0
4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0	0
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0	0
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440	
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30	
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120	
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0	
10	0.70	0.72	0.91	2	215	0	0	3	213	
11	0.67	0.66	0.94	0	0	0	0	2	620	
12	0.53	0.45	0.75	0	0	1	23	3	759	
2014(H26) 1	0.52	0.40	0.73	0	0	1	135	0	0	
2	0.65	0.51	0.81	4	370	0	0	1	90	
3	0.73	0.56	0.86	0	0	0	0	2	60	
4				6	472	0	0	1	100	
前月比 %	0.08 ポイント	0.05 ポイント	0.05 ポイント	-	-	-	-	-50.0	66.7	
前年同月比 %	0.18 ポイント	0.09 ポイント	0.14 ポイント	200.0	381.6	-	-	-	-	
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による